寄宿舎防災学習（災害時体験）を行いました



10 月末、寄宿舎で防災学習の一環として「災害時体験」を行いました。



今回の防災学習では、災害時の避難生活をイメージしながら、避難所で使用されることがある段ボールベッドの組み立てを体験しました。



木曽町役場危機管理室から段ボールベッドとマットをお借りし、実際の避難所をイメージしながら体験しました。

舎生たちは、蛇腹状になった段ボールを広げたり固定したりしながら協力して組み立てを進めました。段ボール工作のような感覚で楽しみながら活動し、4～5 分ほどでベッドが完成しました。完成したベッ



ドは想像以上に丈夫で、「しっかりしているね」「思ったより安心して使えそう」など、驚いた様子も見られました。

　その後は、ベッドの上にキャンプ用マットを敷いて実際に横になり、寝心地を体験しました。「ゆっくり休めそうだね」と話しながら、避難所での生活について考える機会となりました。



　また、各自が学校から持ち帰った防災リュックの中身を職員と一緒に確認し、必要な物がそろっているか点検しました。

　寄宿舎では、災害時に自分で考えて行動する力を身に付けられるよう、防災学習に取り組んでいます。11 月中旬には、できるだけ電気を使わずに生活する「災害時の生活体験」を実施する予定です。今後もさまざまな体験活動を通して、防災への意識を高めていきたいと思います。

